

平成 2 1 年 3 月 2 日 招 集

伊 万 里 市 議 会 第 1 回 定 例 会

市 長 提 案 理 由 説 明

(はじめに)

平成21年第1回定例会の開会にあたり、市政運営の基本方針について所信の一端を申し述べますとともに、今議会に提案いたしました平成21年度当初予算、並びにその他の議案について、その概要をご説明申し上げます。

(政治信念)

私は、平成14年4月に、市民の皆様の負託を受け、市長に就任して以来、市民と同じ目線に立った考え方と前例にとらわれない新たな発想、そして何よりも情熱を持って、市民本位の市政運営に邁進してまいりました。

また、2期目にあたりましては、元気な伊万里市づくりを中心に据えた政策実行計画（マニフェスト）を定め、市政の各分野において、鋭意、施策の展開に取り組んでおり、平成21年度は、その総仕上げとなる4年目を迎えることとなります。

私は、伊万里市の市制施行55周年と重なり合うこの年が、市民の皆様の安心と真の豊かさを創造するための礎となるよう、市民との協働による市政運営に全力を傾注してまいる所存であります。

(時代潮流と社会情勢)

さて、100年に一度と言われる世界的な金融危機に伴い、我が国に

においても、輸出の激減に加え国内需要の急速な縮小により、景気は大きく悪化しており、国内主要企業の業績が落ち込むとともに、雇用不安が広がりを見せるなど、その影響は、私たちの暮らしにまでも、大きなうねりとなって押し寄せています。

私は、今回の経済危機に直面し、昨年末には、県内でもいち早く、雇用に関する緊急相談窓口を開設するとともに、市の臨時職員への優先雇用など、失業者への支援策を講じたところであります。

国においては、景気対策、財政再建、改革による経済成長の3段階での経済財政政策が進められ、「安心実現のための緊急総合対策」と「生活対策」に加え、「生活防衛のための緊急対策」が示されたところであり、本市においても、国の経済対策の積極的な活用により、市民生活の安定に取り組んでまいる覚悟であります。

(行財政運営方針)

国の三位一体改革による地方交付税の大幅削減に加え、法人市民税など自主財源が落ち込む中で、安定した行政サービスを提供していくためには、事業の選択と集中により、歳入の規模に応じ歳出を抑制しなければなりません。

今日の未曾有の経済危機により厳しい状況にある本市の財政を健全なものとし、将来の発展につなげていくことが私の責務であり、市民の皆

様とともに、市民力と地域力を結集し、安心と活力を実感できる伊万里市づくりに取り組んでまいります。

(大型プロジェクトの推進)

また、一方で、平成21年度は、本市の将来の発展を見据え取り組んできた大型プロジェクトが、私たちの前に「形」となり、その姿を現す年になるものと確信しております。

なかでも、市政始まって以来の大型事業である第4工業用水道については、最終的な仕上げに向け、当初の計画どおり着実に事業を推進してまいります。

また、地域の中核的病院として整備を進めている新統合病院については、いよいよ建設用地の造成工事の段階を迎えるとともに、広域ごみ処理施設については、敷地造成の基本設計および施設整備に係る基本計画の策定に取り組むなど、施設の整備に向け大きく動き出すこととなります。

さらに、福岡都市圏との時間距離を飛躍的に短縮する西九州自動車道については、昨年12月に、本市における着工式を行い、現在、南波多町と山代町において橋梁の建設工事などに取り組まれているところであり、平成22年度の完成を目指す国道498号大坪バイパスについても順調に事業の進捗が図られております。

伊万里港では、大型化するコンテナ船への対応として、水深13メートル岸壁の整備が進められており、成長著しいアジア諸国との貿易を中心に、国際物流港としてのさらなる発展が期待されます。

井手口川ダムについては、ダム本体のコンクリート打設が開始されたところであり、地元関係団体等と一体となって地域振興のための周辺整備計画の策定に取り組めます。

このように、それぞれに重要な時期を迎えている大型プロジェクトについて、関係機関等との緊密な連携のもと、事業の着実な推進を図ってまいり所存であります。

(5つのエネルギー政策)

本市を取り巻く社会経済情勢等を踏まえ、マニフェストに掲げた「5つのエネルギー政策」の基本方針に基づき取り組む主要な施策についてご説明申し上げます。

一つ目は、「歴史や伝統文化、特産品など、地域の宝を生かした元気なまち」です。

国内最高級の牛肉として称賛される伊万里牛のブランド力を最大限に活用し、生産振興と観光を一体的に扱う専門部署として、伊万里牛課を産業部内に新たに設置するとともに、牛喰い絶叫大会など伊万里牛を題材にしたイベントの開催や市内の飲食店等と連携した取り組みを展開し、

福岡都市圏等からの交流人口の拡大に努めてまいります。

また、来訪者に焼き物の里を強く印象づけるため、市街地において古伊万里の積み出し港のイメージを表す修景整備を行うとともに、幹線道路沿い等に伊万里焼のモニュメントを設置する伊万里焼ロードギャラリーの整備を推進します。

観光ボランティアガイドの養成により、観光客を温かく迎える体制づくりに努めるとともに、今後の観光振興の指針となる観光振興プランの策定に取り組みます。

さらに、本市の豊かな自然の代名詞となっているカブトガニの展示館を産卵地である多々良海岸沿いに整備するとともに、東山代町長浜干拓において、ツルの越冬地としての定着に引き続き取り組むなど、市民の自然保護への関心を高めてまいります。

二つ目は、「地域医療の充実と食のまちづくりによる日本一の健康長寿の元気なまち」です。

市民の健康への意識を高めるため、「さわやかいまり健康づくり大学」を開催するとともに、メタボリックシンドロームなど生活習慣病の予防に向けた特定健康診査等の受診率向上を図るほか、特定保健指導など健康管理に対するサポートや相談体制の充実に努めます。

また、相次ぐ食品の偽装表示の問題など、食の安全に対する関心が高まる中、食育推進基本計画に基づき、望ましい食習慣の普及と健康増進

を図るとともに、食のまちづくり宣言5周年を記念して、食育に関するフォーラムを開催するなど、市民意識の高揚を図ります。

さらに、食生活改善推進協議会等と連携し、食生活や運動、休養など健康づくりの基本について地域での実践活動を展開し、健康なまちづくりを推進します。

三つ目は、「企業誘致と地場産業の育成による雇用の拡大といきいきと働ける元気なまち」です。

景気の後退に伴い、地域経済を取り巻く環境が厳しさを増す中で、新たな雇用機会を創出するための企業誘致の取り組みとして、あらゆる機会をとらえて立地動向の把握に努めるなど立地勸奨を強化し、臨海部の工業団地をはじめ工場適地等への誘致を推進するとともに、立地企業については、情報交換等による円滑な事業展開の支援に努めます。

また、中国・大連市をはじめ、伊万里アンテナショップが開設されている青島市などの海外市場において、伊万里焼や伊万里梨等の販路拡大を図るなど、伊万里ブランドの輸出促進に取り組みます。

四つ目は、「教育・福祉の充実と子育て支援による安心して子どもを産み育てる元気なまち」です。

仕事と子育ての両立を支援するため、病気回復期にある児童を一時的に保育する病後児保育を新たに開始するとともに、3歳から小学校就学前を対象とする医療費助成について、これまでの入院医療費と歯科医療

費に限定していたものを、すべての医療費に拡大し保護者の経済的な負担の軽減を図ります。

また、市民図書館を核に進めている家読については、各町の公民館を単位とした実行委員会を設置し、さらなる活動の活性化を図るとともに、家読に取り組む自治体の首長等関係者が一堂に会する「家読サミット」を開催するなど、全国への情報発信はもとより、家読に対する市民の意識啓発を図ります。

五つ目は、「活力ある農林水産業の育成と商業を中心とする中心市街地が輝く元気なまち」です。

農業・農村の活性化策として注目されているグリーン・ツーリズムへの取り組みとして、都市との交流に意欲的な団体等との連携により「伊万里ツーリズム推進協議会（仮称）」を設立し、子どもの農家民泊や農作業体験の機会を提供するなど、さらなる交流人口の拡大に努めます。

また、本市独自のイベントとして定着している「畑の中のレストラン」の中で、伊万里農林高等学校や佐賀県猟友会伊万里支部等と連携し、市内で捕獲処理されたイノシシの肉を活用したソーセージなどの加工品開発に取り組めます。

中心商店街については、集客力の低下とともに、空き店舗が増加していることから、イベントの開催等への支援を行い、賑わいづくりを促進するほか、伊万里本町名店街協同組合が取り組むアーケード撤去を支援

するとともに、景観と調和した道路整備を行います。

(元気づくり政策の実現のために)

以上、5つの元気づくり政策についてご説明申し上げましたが、少子高齢化や防災、防犯への対応など、地域における課題は多様化していることから、市民の行政需要に的確に対応していくため、地域分権の新しいまちづくりとして、地域の元気づくりに市内7地区において取り組んでおります。

平成21年度は、実施地区の拡大を図るとともに、活動への支援を行うほか、特色ある元気なまちづくり活動に対する表彰制度を新たに創設するなど、市民との協働によるまちづくりの推進に努めてまいります。

(予算編成方針と当初予算の主な内容)

元気なまちづくりの実現に向けた私の基本的な考え方についてご説明申し上げましたが、世界的な経済危機の影響を受け、本市財政は、かつて経験したことがない深刻な状態に陥っています。

このため、平成21年度予算については、税収の減少などにより不足する財源を補うため、財政調整基金や各種基金の取り崩し等により緊急的に財源を確保し、工業用水道開発をはじめ新統合病院や国見中学校の建設など施設整備に重点的な投資を行いつつ、限られた財源の中で、長

年の懸案であった子ども医療費助成の拡大をはじめとする健康福祉分野や緊急雇用対策に配慮するなど、知恵を絞り工夫を凝らした予算の編成に努めました。

この結果、平成21年度一般会計当初予算の総額は、198億6,600万円といたしております。

以下、今回提案いたしました予算の主なものについて、重複を避けながら、歳出の款ごとにご説明申し上げます。

まず、総務費については、これからの10年間のまちづくりの指針となる「第5次伊万里市総合計画」の策定に取り組むとともに、市制施行55周年にあたり、本市のさらなる飛躍発展を願い記念式典を開催し、市政功労者への感謝の意を表します。

市民活動支援センターについては、市民ネットワーク「いまり」を中心として、まちづくり市民活動団体等の活動に関する情報の収集や発信をはじめ、団体相互のネットワーク化を進めるなど、活動拠点としての利用を促進します。

民生費では、子育て支援に関する施策を総合的に位置づけた次世代育成支援行動計画の後期行動計画を策定するとともに、多様な保育ニーズへの対応として、引き続き一時保育や障害児保育、延長保育に取り組みます。

また、大規模な大坪児童クラブを適正規模に分割するとともに、新た

に山代西小学校に留守家庭児童クラブを開設し、養護学校を含め市内15校において運営するなど、保護者の子育てと仕事の両立支援に努めます。

平成21年度を初年度とする高齢者福祉計画に基づき、身体的、経済的な理由により在宅での生活が困難な高齢者の施設入所を支援するとともに、独り暮らしの高齢者等の緊急時における通報手段を確保するほか、地域における高齢者の生きがいづくりとして、シルバー人材センターや老人クラブの活動を支援します。

また、障害のある人の自立した生活を支援するため、障害者生活支援センターにおいて、障害のある人や介護者等への情報提供をはじめ、相談に対応するとともに、上伊万里地区における障害者施設駐車場の舗装を行い、利用者の利便性の向上を図ります。

衛生費では、妊婦健康診査の公費負担回数をこれまでの5回から14回へと拡充し、妊娠中の健康管理や安全な出産を支援するとともに、3歳児健診時等に幼児発達支援相談を実施し、発達障害など障害のある子どもの療育指導へとつなげるほか、生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問事業に取り組むなど、子育てに関する情報提供と育児不安の解消に努めます。

また、休日や夜間における急病患者等への対応として、休日・夜間急患医療センターや病院群輪番制、在宅当番医制などにより、医療サービ

スの提供に努めるほか、新型インフルエンザへの対策として、拡大防止に向けた行動計画を策定するとともに、正しい知識の普及、啓発等に取り組めます。

一方、循環型社会の構築に向けたごみの減量化や再資源化を促進するため、市民や事業者等に対し、環境意識を高めるための啓発活動を推進するほか、大気や水質、騒音等の環境調査を実施し、良好な生活環境を維持するとともに、環境センターにおいて、ごみの適正な処理に努めます。

労働費では、国の「ふるさと雇用再生特別交付金」および「緊急雇用創出事業交付金」を財源とする県の基金事業の活用により、産業や観光をはじめ、教育、文化、防災など各分野において、緊急雇用対策事業に取り組む、新たに50人規模の雇用機会の創出を図ります。

農林水産業費では、農産物の価格低迷や生産コストの増大など、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中で、効率的で安定した農業経営を確立するため、営農組織など意欲ある担い手による園芸施設の整備や省力化機械の導入等への支援をはじめ、ほ場や用排水路、農道等の整備を進めます。

また、有害鳥獣の被害防止対策として狩猟免許取得への支援等により駆除体制の強化を図るとともに、地域が一体となった農地や農業用水等の適切な保全、管理や先進的な営農活動を支援するほか、中山間地域に

おける農業生産活動等への支援により、耕作放棄地の発生防止や農地の多面的機能の維持増進に努めます。

さらに、伊万里牛のブランド力を高める取り組みとして、共励会の開催や大消費地における販売促進活動を行うほか、伊万里梨については、来年6月に予定している「全国ナシ研究大会」の開催に向けた準備を進めてまいります。

林業については、木材の搬出や施業の効率化のための林道の整備を進めるとともに、水産業では、水産資源保護を目的とした放流事業に取り組むほか、波多津漁港に隣接したふれあい広場の施設整備に対し支援を行います。

商工費では、世界的な経済危機の中で、厳しい経営を余儀なくされている中小企業の資金需要に応えるため、市内金融機関が貸し出す中小企業振興資金の原資を預託するほか、企業の増設等に伴う設備投資を支援する奨励金を交付するなど、円滑な事業展開の促進に努めます。

公共交通機関については、松浦鉄道の車両更新や老朽施設の整備等への支援を行うとともに、市街地において「いまりんバス」の運行に取り組みます。

また、公共交通の空白地域への対応として、地域の実情に即した新しい交通手段の導入について検討を進め、実証運行に取り組むほか、東山代町における「元気バス」については、今後の新しい地域交通システム

のあり方を探るモデル事業として、事業運営に対する支援を行うなど、高齢者や障害のある人など移動制約者が利用できる移動手段の確保に努めてまいります。

観光の振興については、鷹島肥前大橋の開通を福岡都市圏等から本地域への誘客の好機ととらえ、松浦市との共同で取り組んでいる環・伊万里湾核都市研究会による物産展の開催など、広域観光を推進するとともに、「いまり秋祭り」や「どっちゃん祭り」など観光イベントについては、市民との協働により取り組んでまいります。

土木費では、市街地における交通の円滑性と交通安全を確保するため、都市計画道路大坪木須線、陣内白野線の着実な事業の進捗を図ります。

身近な生活道路である市道については、危険個所の早期発見や補修などに努めるとともに、道路の拡幅や見通しの確保などの改良をはじめ、歩道の段差解消やガードレールの設置など歩行者や車両の交通安全の確保に努めます。

また、農地や家屋等への浸水被害を防止するため、準用河川煤屋川、西新田川において護岸の補強や拡張工事に取り組みます。

開園以来、多くの市民に利用されている「伊万里ファミリーパーク」については、適切な維持管理に努めるとともに計画的な整備を進め、平成21年度は園内散策路の整備に取り組みます。

大坪市営住宅と立花市営住宅において、外壁の改修やバリアフリー化

に取り組むとともに、すべての市営住宅を対象に新たにアスベストの分析調査を実施するほか、一般住宅の耐震診断についても引き続き支援してまいります。

消防費では、火災や自然災害等から市民の生命と財産を守るため、消防資機材の整備、充実を図るとともに、救急救命士の養成など救急技術の向上に努めます。

また、各種訓練や研修会の開催などにより市民の防火意識の高揚を図るとともに、住宅火災から尊い命を守るため、住宅用火災警報器の設置を促進します。

さらに、消防団については、老朽化した小型動力ポンプ付積載車や資機材の更新を図るほか、積載車格納庫やホース乾燥施設の整備に対し支援を行うなど、地域の防火安全対策の向上に努めます。

教育費では、安全で快適な教育環境を整備するため、国見中学校の校舎の改築に取り組むとともに、学校の耐震診断を年次的に進めてまいります。

また、「訪問型家庭教育支援チーム」を設置し、家庭や事業所等への訪問により、子育てやしつけに関する情報を提供するとともに、相談体制の充実努めるほか、安全な子どもの居場所を確保し、地域の大人との交流を通じて、スポーツや文化活動などを行う「放課後子ども教室」を8か所の公民館に拡大して実施するなど、子どもの健全な育成を図りま

す。

さらに、学校給食をすべて米飯給食に切り替え、地元産米の消費拡大を図り、あわせて、食材の高騰に伴う保護者の経済的負担の軽減に努めます。

市民総参加のスポーツの祭典である市民体育祭については、市制施行55周年記念大会として開催し、市民の健康の保持増進や地域の連帯意識の醸成を図ります。

また、プロ野球の名球会やOBクラブの選手を招き、「ドリーム・ベースボール伊万里」を開催し、野球教室や親善試合等を行うとともに、本市と有田町を会場として行われる佐賀県スポーツ少年団交流大会の円滑な運営を支援します。

災害復旧費については、家屋などの背後地の崩壊による被害を未然に防ぐため、急傾斜地の崩壊防止に取り組みます。

次に、特別会計についてご説明申し上げます。

国民健康保険特別会計については、予算の総額を63億9,180万5千円とし、保険給付費および共同事業拠出金等を計上いたしております。

介護保険特別会計については、予算の総額を50億1,676万7千円とし、認知症者の家族等の介護負担を軽減するための見守りサポーター派遣に要する経費および保険給付費等を計上いたしております。

立花台地開発事業特別会計については、予算の総額を1,312万4千円とし、街路樹の管理委託料等を計上いたしております。

公共下水道事業特別会計については、予算の総額を23億2,175万5千円とし、浄化センターの老朽化した水処理施設の更新に要する経費および松島搦地区の雨水による浸水に対する調査費並びに地方債償還金等を計上いたしております。

農業集落排水事業特別会計については、予算の総額を1億2,575万3千円とし、処理場等の維持管理費および地方債償還金等を計上いたしております。

市営駐車場特別会計については、予算の総額を1,294万8千円とし、管理運営に要する経費等を計上いたしております。

老人保健特別会計については、予算の総額を569万8千円とし、医療給付費等を計上いたしております。

後期高齢者医療特別会計については、予算の総額を11億7,502万3千円とし、後期高齢者医療広域連合納付金等を計上いたしております。

次に、企業会計についてご説明申し上げます。

水道事業特別会計については、予算の総額を35億6,078万7千円とし、営業費用および企業債償還金のほか、第9次拡張事業に伴う浄水場の建設等に要する経費並びに浦ノ崎簡易水道の浄水施設の更新および川内野簡易水道の取水施設や導水施設の整備に要する経費等を計上い

たしております。

工業用水道事業特別会計については、予算の総額を32億1,442万2千円とし、営業費用、企業債償還金のほか、第4工業用水道の建設に要する経費等を計上いたしております。

国民健康保険病院事業特別会計については、予算の総額を13億1,244万3千円とし、医業費用および企業債償還金等を計上いたしております。